



認知症高齢者などへの見守りを!

健康福祉課長寿介護係

☎ (25) 1186

健康福祉課地域包括支援センター

☎ (25) 1182

認知症とは

認知症は誰でもかかりうる脳の病気です。発症する最大の原因は加齢です。認知症の一手手前の段階である軽度認知障害(MCI)の場合は、健康な状態に戻る可能性があります。認知症を発症した場合、徐々に認知機能が低下していきます。しかし、早期発見・早期治療により進行を遅らせることが可能です。

認知症のかたへの接し方

認知症のかたに接するときには、自尊心を傷つけず、安心感が持てるよう笑顔で話しかけましょう。また、たくさん情報を一度に伝えると混乱するので、相手の正面から簡潔にゆっくり話すようにしましょう。

徘徊について

認知症が進行すると、人によつては徘徊行動が見られる場合があります。この場合、本人は目的があつて歩いていく場合が多いのですが、途中で自宅が分からなくなり、行

方不明になることがあります。行方不明になると、高齢者自身が危険にさらされるほか、家族などへの心身の負担は大きなものになります。そこで、市では位置情報検索システム(GPS)購入助成(※1)と、見守りシールの交付(※2)を行っています。

見守りの目を増やす(協力者・店募集中)

高齢者の見守り(見守りネットワーク)への協力をいただいている事業所は、現在89店舗あります。高齢者のかたを見守っていたり、高齢者のかたが行方不明になった時に無理のない範囲で一緒に捜索をしていただいているかたは、地域包括支援センターまで連絡をお願いいたします。



店や自宅の玄関に貼っていただく見守りネットワーク登録シール



(※1) 位置情報検索システム(GPS)助成金

GPS 機器および付属品の購入費や、新規契約に必要な加入料および登録手数料を助成します。

対象者

- 65 歳以上で、認知症による徘徊が認められるかた
- 40 歳以上 65 歳未満で介護認定をされたかたのうち、認知症による徘徊が認められるかた
- そのほか、市長が認めるかた

助成額

対象者 1 人につき 1 回までで、上限 2 万円(月々の使用料や検索費用などは利用者負担)

申請先

- 健康福祉課長寿介護係
- 市民課
- 各連絡所



(※2) 見守りシール交付

QR コード付き見守りシールを無料で配布します。QR コードを読み取ると、行方不明者捜索専用のインターネット掲示板に接続でき、行方不明者の早期発見につながります。

対象者

- おおむね 65 歳以上のかた
- 40 歳以上 65 歳未満で、介護認定をされたかたのうち、認知症による徘徊が認められるかた
- そのほか、市長が認めるかた

申請先

- 健康福祉課
地域包括支援センター
- 市民課
- 各連絡所



見守りシール